

<参考事例②>

以下は、特設公衆電話(事前設置場所)に周知されている運用方法のマニュアルの例です。

※電話回線数、接続端子の形態・設置場所は避難所等により異なります。

1. 収納備蓄品名 等

災 害 時 特 設 公 衆 電 話

	備蓄品名 等	個
1	電話機	5
2	延長ケーブル	1
3	電話コード	5
4	電話機取付けマニュアル	1
5		

※利用開始・終了時の連絡先は

【●●-●●●●-●●●●】へ

2. 収納ケースと接続端子の確認

① 災害時特設公衆電話収納ケースの移動



備蓄倉庫等から『災害時特設公衆電話収納ケース』を電話機設置場所まで運んで下さい

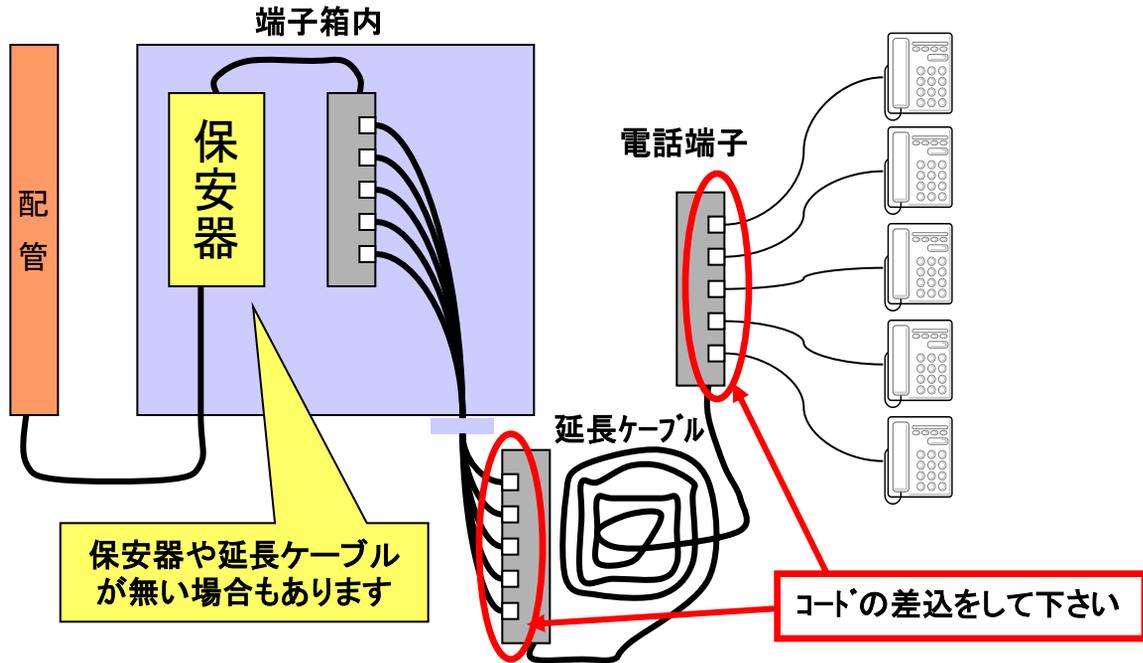
② 災害時特設公衆電話接続端子盤の確認



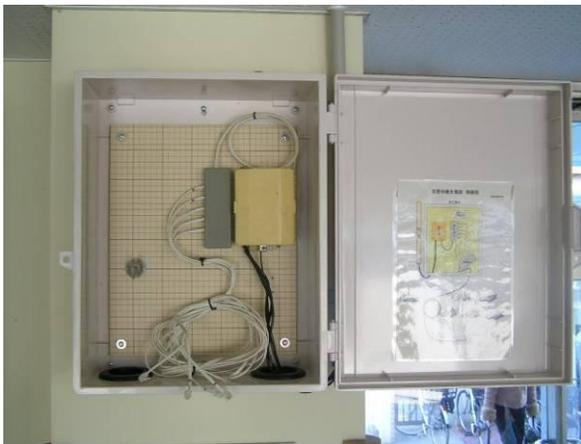
- ・特設公衆電話接続端子の位置を確認して下さい
- ・『災害時特設公衆電話収納ケース』を確認して下さい

3. 延長ケーブルと電話端子の接続

③ 特設公衆電話端子盤へ延長ケーブルを装着



④ 電話端子と延長ケーブルを接続



電話端子盤内の回線端子と延長ケーブル側の電話コードを接続して下さい

4. 電話機接続

⑤

運用開始連絡



電話コードを延長ケーブルの回線端子に接続し、
受話器を上げて発信音の確認をして下さい

発信音(ツー)を確認後【●●-●●●●-●●●●】
をダイヤルし、次の内容を録音して下さい。

- ①市区町村名
- ②避難所名称
- ③連絡者名
- ④連絡先

設置完了(避難者への提供開始)

運用終了時は【●●-●●●●-●●●●】をダイヤルし、
次の内容を録音して下さい。

- ①市区町村名
- ②避難所名称
- ③撤収予定時刻